新品種候補（2023 年１月作成）

育種事業課題名：てんさい新品種候補「HT50」の概要（722511）

担当部署：北見農試・研究部・麦類畑作グループ、十勝農試・研究部・豆類畑作グループ、
中央農試・作物開発部・作物グループ、上川農試・研究部・生産技術グループ、
北海道農産協会

キーワード：てんさい、根重、糖量、褐斑病抵抗性、根腐病抵抗性

１．特性一覧表

系統名：「HT50」　交配：「HI0193×HI0440」×「HI0931」

特性：長所１　根重、糖量が、「リボルタ」に比べてやや多い。
２　褐斑病抵抗性が、「バラトン」に比べて強い“かなり強”である。
３　根腐病抵抗性が、「バラトン」に比べて強い“強”である。
短所　なし

普及見込面積：令和５年度 500ha、令和６年度以降 6,000 ha

試験場所	北見農試、十勝農試、中央農試、北海道農産協会			
調査年次	令和２～４年			
品種・系統名	HT50	アマホマレ （標準品種）	リボルタ （対照品種）	バラトン （対照品種）
倍数性	二倍体	三倍体	二倍体	二倍体
種子の胚数	単胚	単胚	単胚	単胚
胚軸の赤色個体	多	やや多（多）	多	多
草姿	中間	中間	直立	直立
葉長	中	中（長）	中	長
葉数	やや多	中（やや多）	中	少
葉色	濃緑	緑	濃緑	濃緑
葉形	披針	楕円	やや披針（披針）	披針
葉面縮	少	少	中	中
葉身の大きさ	中	中（やや小）	中	中
葉柄長	やや短	中（やや長）	やや短	中
葉柄の太さ	やや太	やや太（中）	やや太（中）	やや太
根形	やや短円錐	やや短円錐	円錐	円錐
根重（t/10a）	7.78（107）	7.25（100）	7.48（103）	8.00（110）
根中糖分(%)	16.21（ 98）	16.51（100）	16.18（ 98）	15.59（ 94）
糖量(kg/10a)	1,261（105）	1,199（100）	1,210（101）	1,249（104）
抽苔耐性	やや強	強	やや強	やや強
そう根病抵抗性	強	弱	強	強
褐斑病抵抗性	かなり強	中	かなり強	強
根腐病抵抗性	強	弱	強	やや強
黒根病抵抗性	やや強	中	やや強	やや強

注１）形態的特性は北見農試の直播栽培による成績（「アマホマレ」の括弧は品種登録の特性、「リボルタ」の括弧は優良品種認定時の特性、「バラトン」は優良品種認定時の特性）。

２）根重、根中糖分および糖量は、北見農試、十勝農試および北海道農産協会（３か所）ののべ15か所平均で、括弧内は「アマホマレ」に対する百分比。

３）特性検定は抽苔耐性（北見農試、令和３、４年）、そう根病抵抗性（北見農試、令和２～令和４年）、褐斑病抵抗性（十勝農試、令和２～令和４年）、根腐病抵抗性（十勝農試、令和２～令和４年）、黒根病抵抗性（中央農試、令和２～令和４年）の成績。

２　特記すべき特徴

「リボルタ」と比較して、「HT50」の根重、糖量はやや多い。根中糖分はほぼ並である。抽苔耐性および病害抵抗性は同等である。また、「バラトン」と比較して、根重はやや少なく、根中糖分はやや高く、糖量はほぼ並である。褐斑病抵抗性が「バラトン」の“強”に対して“かなり強”であり、「バラトン」より強い。根腐病抵抗性が「バラトン」の“やや強”に対して“強”であり、「バラトン」より強い。

３　優良品種に採用しようとする理由

てんさい作付け地域には、土壌の排水性が不良であるため病害の発生しやすい圃場がかなり存在し、そのような圃場では、耐病性に優れる品種が栽培されてきた。

耐病性品種の一つである「リボルタ」（平成 22 年北海道優良品種認定）は、てんさい栽培において特に問題となるテンサイそう根病、テンサイ褐斑病、テンサイ根腐病、テンサイ黒根病の４病害すべてに抵抗性を持つが、収量面で欠点を持つ。そこで、収量性が向上した「バラトン」（令和２年北海道優良品種認定）が、「リボルタ」を置き換える形で普及してきた。しかし「バラトン」は４病害抵抗性を持つものの、褐斑病抵抗性と根腐病抵抗性が「リボルタ」より弱い。そのため病害発生が激しい圃場では、「リボルタ」が栽培され続けている。以上のことから、「リボルタ」並の優れた耐病性と「バラトン」並の収量性を兼ね備えた品種が必要とされてきた。

「HT50」は、「リボルタ」と同じ強さの４病害抵抗性を持つ。また、収量性については、糖量が「リボルタ」より向上しており「バラトン」並である。

以上から、「HT50」をすべての「リボルタ」、および大部分の「バラトン」に置き換えて普及させることで、てんさい生産と農家所得の安定と向上に寄与できる。

なお、直播栽培地域では、気象等の条件によって、「バラトン」のような根重型品種が適している場合がある。そのため、「バラトン」を直播栽培地域の一部で残す。

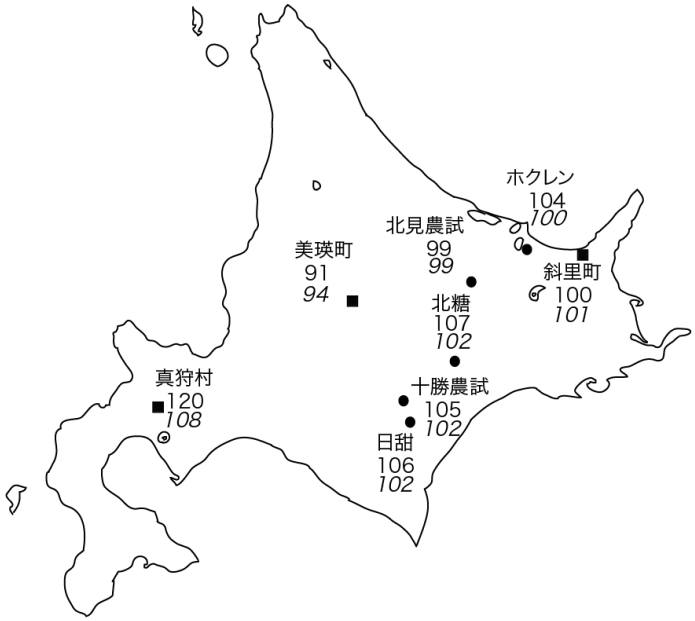
４　普及見込み地帯

北海道

５　栽培上の注意

１）抽苔耐性が“やや強”であるため、早期播種や、移植栽培における育苗時の過度の低温による馴化は避ける。

図「HT50」の糖量

●　：てん菜輸入品種検定試験
「リボルタ」、「バラトン」対比％
斜字体が「バラトン」
（令和２～令和４年，３か年平均）

■　：輸入品種現地検定試験成績
「アマホマレ」対比％、
斜字体は各地区代表品種対比％
（令和３，４年、２か年平均）
地区代表品種は、
真狩村：「リボルタ」
美瑛町：「カーベ 2K314」
斜里町：「パピリカ」